



## 猛暑にコロナが再び流行！

厳しい猛暑が続く毎日ですが、そんな最中に再びコロナが増えてきました。今回の流行が11波になるそうですが、コロナとの戦いは季節を問わず続きます。現在の流行株はオミクロン株の一種である「KP.3」という新しい変異株だそうです。この変異株の特徴は、感染力がやや強いこと、過去の感染やワクチンによる免疫をすり抜ける能力が高いことが特徴です。

「KP.3」の主な症状の特徴はのどの痛みと発熱です。一部に鼻水や腹痛、嘔吐などの症状もありますが、味覚や嗅覚異常を訴える人は少なく、重症化もしにくいようです。

今治保健所管内の発生状況を見てみると、7月から感染者数が増え始め、定点当たりの報告数で見ると7月第1週は4.0でしたが、第3週には20.8と5倍にまで増えています。第4週は15.8とやや頭打ちとなっています。小児のコロナ陽性者は家族内感染の方が圧倒的に多い印象です。

8月はおんまぐ祭りやお盆などで人の移動が盛んになることから患者数が増え続けるのではないかと心配です。人が集まる場所では換気と手洗いの徹底、状況に応じたマスク着用などを心がけてください。

### こんなとき保育所はお休みしましょう！

#### 【下痢】

- 24時間以内に水様便がある。
- 食事や水分をとるたびに下痢をする。
- 下痢とともに発熱がある。
- 朝、排尿がない。
- 機嫌が悪く元気がない。

『保育所における感染症対策ガイドライン』より抜粋



#### 7月の感染症情報

冒頭で述べたように新型コロナが増えました。当院でのコロナ陽性者は7~8人/週でした。一時下火になっていたRSV感染症が再び増加しました。3~4歳以下で咳が目立つお子さんは要注意です。

インフルエンザはみられなくなり、溶連菌感染症も少なくなりました。手足口病は引き続き流行していますが、先月より減少しています。



#### 7月の利用状況

7月の利用延べ人数は110人、1日平均利用人数は5.0人でした。年齢別では、1歳児が36人で最も多く、次いで2歳児28人、3歳児23人の順でした。疾患別では、急性上気道炎が37人で最も多く、次いでRSV感染症26人、手足口病20人の順でした。急性上気道炎の多くは先月と同じく高熱が出る夏風邪でした。7月中旬からRSV感染症が増えてきました。

猛暑日が続き1日中冷房のなかで過ごすことが多いせいか、真夏でも咳鼻水の風邪のお子さんが目立ちます。体調管理が大変ですが、くれぐれもご自愛ください。